

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 5 月 19 日 (2005.5.19)

【公開番号】特開 2002-281436 (P2002-281436A)
 【公開日】平成 14 年 9 月 27 日 (2002.9.27)
 【出願番号】特願 2001-76846 (P2001-76846)

【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 5/91
 G 1 1 B 7/004
 G 1 1 B 20/12
 G 1 1 B 27/00
 G 1 1 B 27/10
 H 0 4 N 5/765
 H 0 4 N 5/781
 H 0 4 N 5/85
 H 0 4 N 5/92

【F I】

H 0 4 N 5/91 Z
 G 1 1 B 7/004 Z
 G 1 1 B 20/12
 G 1 1 B 27/00 D
 G 1 1 B 27/10 A
 H 0 4 N 5/85 B
 H 0 4 N 5/781 5 1 0 L
 H 0 4 N 5/92 H

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 7 月 9 日 (2004.7.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の記録メディアを同じ時期にアクセスする情報記録再生装置において、
 第 1 の記録メディアの情報記録状態から第 2 の記録メディアの情報記録状態に遷移する
 場合、繋ぎ部分の情報として、前記第 1 と第 2 のメディアの両方にそれぞれオーバーラップ
 期間記録情報を記録し、

前記第 1 の記録メディアの再生用管理情報には、前記オーバーラップ期間記録情報の開
 始位置を示すエントリーポイント情報を記録し、前記第 2 の記録メディアの再生用管理情
 報には、前記オーバーラップ期間記録情報の終了位置を示すエントリーポイント情報を記
 録し、

前記第 2 の記録メディアの再生用管理情報の中の前記終了位置を示すエントリーポイン
 ト情報は、前記オーバーラップ期間記録情報をスキップさせるためのスキップ処理用情報
 として用いることを特徴とする複数の記録メディアの映像記録再生方法。

【請求項 2】

前記第 1 の記録メディアは、前記情報記録再生装置に対してリムーバブルな光ディスク
 であり、前記第 2 の記録メディアは、前記情報記録再生装置に内蔵されたハードディスク

であることを特徴とする請求項 1 記載の複数の記録メディアの映像記録再生方法。

【請求項 3】

複数の記録メディアを同じ時期にアクセスする情報記録再生装置において、
第 1 の記録メディアの情報記録状態から第 2 の記録メディアの情報記録状態に遷移する場合、繋ぎ部分の情報として、前記第 1 と第 2 の記録メディアの両方にそれぞれオーバーラップ期間記録情報を記録する手段と、

前記第 1 の記録メディアの再生用管理情報に対して、前記オーバーラップ期間記録情報の開始位置を示すエントリーポイント情報を記録する手段と、

前記第 2 の記録メディアの再生用管理情報に対して、前記オーバーラップ期間記録情報の終了位置を示すエントリーポイント情報を記録し、前記第 2 の記録メディアに記録されている前記オーバーラップ期間記録情報をスキップさせるためのスキップ処理用情報として用いる手段と

を具備したことを特徴とする複数の記録メディアの映像記録再生装置。

【請求項 4】

前記第 1 の記録メディアは、前記情報記録再生装置に対してリムーバブルな光ディスクであり、前記第 2 の記録メディアは、前記情報記録再生装置に内蔵されたハードディスクであることを特徴とする請求項 3 記載の複数の記録メディアの映像記録再生装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0064

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0064】

ステップ B 9 において、現在地点よりも後のエントリーポイントがない場合には、タイトルの末尾まで移動することになる。尚、ステップ B 3 から、DVD-RAM 再生モードに移行した場合にも、再生キー操作があったかどうかを判定する（ステップ B 1 1）。再生キーの操作があった場合には、マイクロコンピュータブロック 30 は、DVD-RAM の管理情報からタイトルの先頭アドレスを認識し（ステップ B 1 2）、先頭アドレスからの再生を開始する（ステップ B 1 3）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 4】

